

令和元年9月13日(金)
国土交通省 関東地方整備局
京浜河川事務所

記者発表資料

鶴見川多目的遊水地で台風15号の洪水を貯留 ～運用開始以降、20回目の洪水調節を実施～

- 令和元年9月8日から9日未明にかけて台風15号に伴い、鶴見川流域における累加雨量は約130mmとなりました。
- 鶴見川においては水位が上昇したため、鶴見川多目的遊水地において洪水調節を行いました。
- 今回、洪水調節を行ったことから運用開始から20回となりました。
- 鶴見川では、「総合治水対策」※の一環として洪水を一時的に貯留する施設である「鶴見川多目的遊水地」(横浜市港北区小机町地先)を整備し、平成15年8月より運用を開始しています。

※鶴見川における総合治水対策は、「河川対策」、「下水道対策」、「流域対策」を一体となった治水対策を進めています。

発表記者クラブ

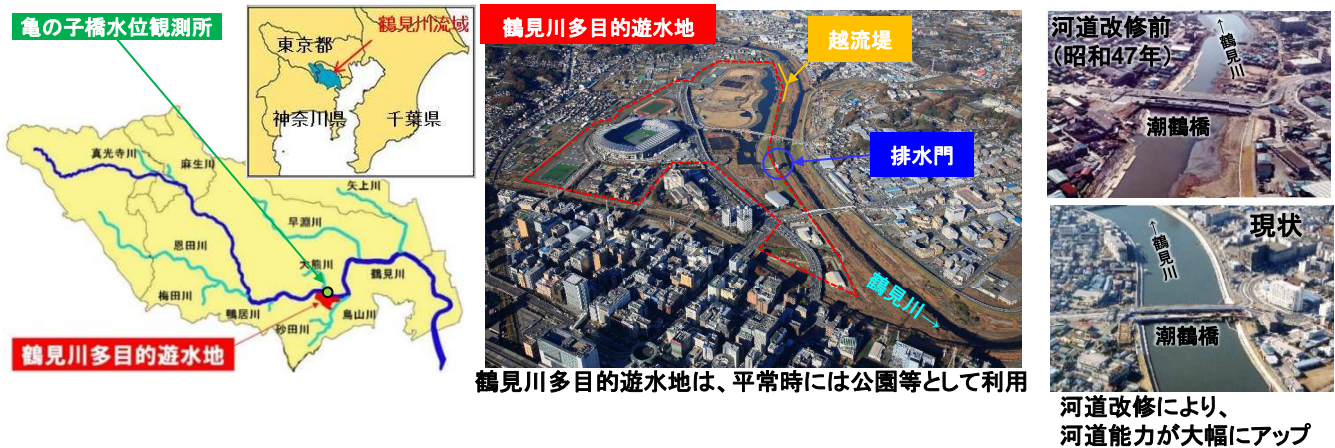
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
副所長 太田 敏之(おおた としゆき)
流域調整課長 大野 光秀(おおの みつひで)
電話 045(503)4000(代表)
FAX 045(503)4010

R1.9.8 台風15号に伴う鶴見川多目的遊水地の流入状況について

- 令和元年9月8日の台風15号において鶴見川では、総合治水対策のひとつである河川対策で整備した鶴見川多目的遊水地により洪水調節を行った。
- 鶴見川多目的遊水地では、平成15年6月に供用を開始してからこれまでに20回の洪水を貯めています。



鶴見川多目的遊水地・河道改修など、これまで講じてきた総合治水対策による効果

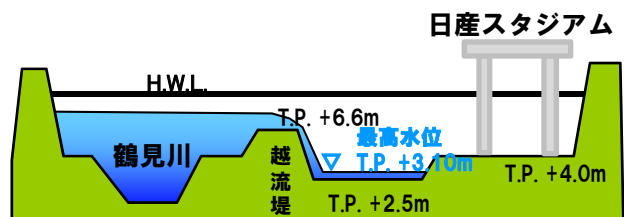
鶴見川多目的遊水地(越流堤)

平常時

9月9日 4:50頃



約6.4万m³を貯留した鶴見川多目的遊水地



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。

【鶴見川多目的遊水地 流入実績】

No	年月日	出水名	貯留量
1	平成15年08月15日	前線による豪雨	約7,000m ³
2	平成16年10月09日	台風22号	約1,250,000m ³
3	平成16年10月20日	台風23号	約80,000m ³
4	平成17年09月04日	前線による豪雨	約50,000m ³
5	平成20年05月20日	前線による豪雨	約9,000m ³
6	平成20年08月30日	前線による豪雨	約50,000m ³
7	平成21年10月08日	台風18号	約64,000m ³
8	平成22年12月03日	前線による豪雨	約62,000m ³
9	平成23年08月26日	前線による豪雨	約54,000m ³
10	平成24年05月03日	前線による豪雨	約18,000m ³
11	平成25年04月06日	低気圧による豪雨	約922,000m ³
12	平成25年09月15日	台風18号	約50,000m ³
13	平成25年10月16日	台風26号	約328,000m ³
14	平成26年06月06日	低気圧による豪雨	約22,000m ³
15	平成26年10月06日	台風18号	約1,536,000m ³
16	平成27年12月11日	低気圧による豪雨	約13,000m ³
17	平成28年08月22日	台風9号	約422,000m ³
18	平成29年10月23日	台風21号	約102,000m ³
19	平成30年3月9日	低気圧による豪雨	約907,000m ³
20	令和元年9月9日	台風15号	約64,000m³

※観測値は速報値